高崎市ＰＴＡ連合会広報誌
たかさき倶楽部
第４号

会長あいさつ

川鍋　太志

日頃会員の皆様には高崎の子どもたちのためにＰＴＡ活動をしていただき、また12月の県Ｐ及び市Ｐ連の大会にご参加いただきまして心より感謝申し上げます。

２月になり皆様も子どもたちも来年度に向けて期待していることと思います。今年度高崎市ＰＴＡ連合会では広報誌、大会、セミナー等で会員の皆様のために出来ることを不十分ではございますがさせていただきました。そしてブロック会議では各単Ｐの会長同士が、情報交換等で親睦を深められたと思います。

皆さんは「なぜ」ＰＴＡ活動をやるのか考えたことがありますか？私は昔ある先輩から次のように教えていただいたことがあります。

「私は自分の子どもがかわいい。けれど子どもは年とともにだんだん親との時間が減ってゆく。親の影響から友達や社会の影響が大きくなってゆく。自分の子どもが健やかの成長をする為には、他の子どもや社会を良くすることが最後には自分の子どもが良くなることだ。」私自身「そのとおり」と思いました。それからは他人の子どもも自分の子ども同様に対応し、教育環境を少しでもよくしようと心がけています。

昔は悪いことをすると近所のおじさんによく怒られたものです。地域には必ず一人や二人いました。そんな中で良い事、悪い事を学んだ気がします。人は一人では成長できません。多くの人から影響を受け、多くの人から学び、多くの人と協力しなければ人間として成長できません。私は「教育は共育」だと思います。ただ教えるのではなく親と子、教師と生徒が共に育むことが大切ではないでしょうか。

皆さんも子どもに教えなければならないと考えている事はたくさんあると思いますが、子どもから教えられたこともたくさんあったと思います。勉強、勉強と子どもに言っている私たちもまだまだ勉強しなくてはなりませんね。

高崎の３１，０００人の私たちの子供たちのためにも、子どもたちと一緒に少し勉強しましょう。

一年間本当にありがとうございました。

県Ｐ・市Ｐ大会

十二月三日（土）に群馬音楽センターを会場に第五十七回群馬県小中特別支援学校ＰＴＡ大会・第五十回高崎市ＰＴＡ連合会研究大会が開催されました。

当日は朝から雨が降り続く悪天候にもかかわらず、二千人の客席が埋まる大盛況でした。式典に続き、元プロ野球選手の桑田真澄氏による講演が行われました。

◆講　師

元プロ野球選手

桑田　真澄氏

◆テーマ

「夢をあきらめない」

◆講演概要

『努力することの大切さを

誰より知る男　桑田真澄』

今の人たちは、夢がすぐに実現しないと諦めてしまう。でも大切なのは夢を頭の片隅に置きながら日々努力すること。

チャンスが来たらチャレンジすること。ただし、一人では頑張りきれない。仲間がいてこそです。

子ども達は、金の卵です。彼らがそれぞれ自分の夢に向かって頑張れるよう応援しています。我々大人が夢に向かって頑張る背中を見せることが一番大事なことであると思います。

野球は十点取れれば勝てるでしょうか。十一点取られれば負けてしまいます。零点に抑えたら勝てるでしょうか。点を取らなければ勝てません。攻撃と守備とが両立しないと勝てないスポーツです。それは表と裏のバランスです。

野球を通して「表と裏の両立」ということが頭のどこかでキーワードになりました。ビジネスでも何でも人生は全て表と裏のバランスが大切なのではないかと思うようになりました。

しかし、そう言っている自分が最初から両立出来ていたわけではありません。私の人生は一言で言うなら「挫折」であると思います。数え切れない程の挫折を味わいました。

四月一日生まれのため、学年で一番年下で小学校低学年の頃は授業が理解できず、落ちこぼれでした。

小学校三年生になると野球が武器になりました。六年生にまざって野球に取り組みました。縦社会の中で雑用もたくさんしましたが、辛くはありませんでした。プロ野球選手になりたいという夢を持ったからでした。しかし、いじめを受けて一旦挫折。

中学で人生初めての目標ができました。それは『ＰＬ学園に入学して甲子園に出場すること。そして早稲田大学で野球をすること』でした。目標達成のため、決意して実行しました。

授業はよく聞き、宿題は休み

市Ｐ連ホームページをご利用ください！

まもなくホームページが一新されます。
ご期待下さい。

http://takasaki-pta-net.com/

時間に済ませ、放課後は野球漬けの毎日でした。入学時の成績はビリでしたが、テストのたびに十人、二十人と抜いていきました。

小さな成功体験の積み重ねでした。その中で楽しい事を見つけました。それは『努力』ということでした。何か方法を探してそれを実行する。自分でも工夫してみる。少しずつをコツコツ積み重ねていきました。時間がなかったからこそ出来たと思っています。勉強も楽しい、野球も楽しい。自信満々でPL学園に入学しました。

PL入学前に清原と顔合わせの機会があり、恵まれた体格にコンプレックスを抱きました。高校は超タテ社会。入寮一ヶ月で親に「辞めさせてくれ」と泣き言を言いました。しかし親は「自分らしくやればいい。補欠だったとしても」と言って聞いてくれませんでした。そして「最後まで何が起こるか分からない。絶対諦めちゃダメ」と言われました。私は「これ以上何ができるだろうか。できることなんてないのではないか」と思いましたが、その時から裏の努力を始めました。

表の努力は野球に関する努力、裏の努力とは挨拶・靴揃え・雑草取り・トイレ掃除などでした。誰にも見られないようにして一生懸命に頑張りました。

三ヶ月が過ぎた頃チャンス到来。「投げてみろ」と言われ、そこでシャットアウトゲーム。ピッチャーにとって最高のゲームでした。

人間は結果が良いと自信を持ち始める。気が付いたら甲子園で優勝していました。トイレ掃除のような裏の努力が運と縁とツキを貯金してくれたんだなと思いました。野球ってホント実力だけじゃないんだなと思いました。もちろん野球だけじゃなく、人生も実力だけじゃないことを実感しています。運とか縁とかツキとか・・そして「気づき」が大切だと思います。

プロ野球で実力の差に挫折。「試練」という言葉に出会いました。試練とは「試す」「練習」。その言葉が語りかけてきました。「このマウンドで試さないと何にもならない。挑戦だ」「いいじゃないか、失敗したって。また練習すればいい」。

最後に「本物に触れる」大切さということだと思います。パイレーツは当時四十歳の私にはラストチャンスでした。激痛をこらえてでもメジャーのマウンドに立ちたかった。そこに立った人にしかわからないことがあるのですから。

学校自慢（特色あるPTA活動）

【桜山小学校】

桜山小学校

一学年PTA行事として「親子ミニ運動会」を開催しています。親子が触れ合いながら一緒に体を動かす機会も年々少なくなっているので、とても貴重な時間を過ごす事ができます。子供たちの楽しんでいる姿を見て「触れ合う事の大切さ」を改めて感じます。

【久留馬小学校】

春の「教育講演会」では地域の皆様にもお声がけして、児童と保護者、地域住民が参加できる演劇や音楽、科学実験など、その年ごとに工夫して開催しています。

持久走大会や運動会では、たくさんのPTA会員に参加してもらって、監察・会場作り・駐車場作り・学校整備などしています。

映画「ここに泉あり」は本校がロケ地になっていて、当時の校門がプールに残されています。

【馬庭小学校】

馬庭小学校

今年、四・五・六年生全員がマーチングパレードに初めて参加しました。四月から練習を始め、十月二十三日の本番に何とか間に合わせることができました。子どもたちはパレード本番において、沿道をうめつくした大勢の人々の前で堂々と演奏し、充実感を味わい、とても良い経験をすることができました。

【片岡中学校】

生徒とPTA会員を対象とした学校ライブを開催しました。

『歌う道徳講師』こと大野靖之氏の澄んだ歌声とトークは、会場全員の心に響き、生徒からは「家族・命の大切さを考えさせられた」「夢は叶うという言葉に勇気をもらった」という声が多数寄せられました。手拍子・笑い・涙ありの感動的で楽しいライブでした。

【吉井小学校】

吉井小学校

年二回「家庭教育セミナー」を開催しています。様々な分野の講師の先生をお招きし、毎回たくさんの保護者が参加しています。今年前期では、ヨガのインストラクターとして活躍されている先生をお招きし、「ヨガエクササイズ」を行い、汗を流しながら保護者同士のコミュニケーションをはかりました。

【城南小学校】

城南小学校

昨年度から父親委員会が主体

となって「城南バーディング」を開催しています。学校近くを流れる烏川河岸は多くの種類の野鳥を観察できる絶好のスポットであり、当日は野鳥の会の方と一緒に親子で身近な自然に親しんでいただくとともに、自分たちの住む城南地域に対する理解を深めていただく貴重な機会となっています。

【下里見小学校】

下里見小学校

里見地区は古くから梨の栽培が盛んで、本校の校庭にも校内学習の目的で三十年程前に植えられた梨の木があります。地元の梨生産農家の方に協力していただき、三年生の児童が毎年お世話を担当します。今年も六月十五日に梨の袋かけを行いました。秋に収穫される梨は、給食や学校を訪れるお客様に振る舞われます。

【榛名中学校】

本校ＰＴＡ会員の皆様には、様々な行事に参加をいただいています。講師を招いて全校生徒・保護者を対象とした携帯電話講習会、年二回開催予定のＰＴＡチャリティーゴルフ大会、早朝から親子での参加の通学路クリーン作戦、通学路における校外パトロール等を行っています。その他にも各種行事では学校と家庭とが連携しあい熱心に活動、ご協力をいただいています。

【高南中学校】

高南中学校

昨年十月二十六日に群馬県庁にて道路愛護優良校の表彰状をいただきました。これは、平成十三年から本校一年生が地域の方の指導のもとで毎年、井野川沿いのサイクリングロードにコスモスを育てており、それが地域や道路の美化活動に貢献しているとして表彰されたものです。コスモスを種から育て、移植し、暑い日も水やりをした歴代の一年生のおかげです。

【上郊小学校】

上郊小学校

本校ＰＴＡでは、今年度ＰＴＡキャンペーンの一環として、本部役員を中心として「あいさつ運動」を実施しています。

年度当初や長期休業の前後に校門に立ち、登校する子どもたちに声をかけています。「子どもたちが挨拶できるようになってきている」との地域の方からの声が聞こえてきています。

【入野中学校】

入野中学校

本校では、今年度すでに三回の講演会が実施されました。拡大学校保健委員会（ＰＴＡ協賛）の「成長期の食事を見直そう」（講師　木村典代先生）では、多数の保護者の参加がありました。講演会後には全校生徒の骨密度と体の組成が測定され、個別のアドバイスがなされました。

学校紹介

【里見小学校】

里見小学校

本校では児童の安全を守るため、下校時刻に合わせて保護者による通学路の「下校パトロール」を実施しています。また、毎日、ボランティアで交通指導にあたって下さっている「ふれあいパトロール」の地域の皆さんとも協力し、情報交換を行いながら、さらに安心して下校できるように努めています。

【倉賀野中学校】

私たちの学校がある倉賀野の地は古代から栄えた地域で、近くには県内第二の規模を持つ浅間山古墳があります。また戦国時代には烏川の崖の上に倉賀野城がありました。江戸時代には中山道の宿場町として江戸と京都とを結ぶと同時に日光例幣使道への分岐点でもありました。

昭和二十二年四月創立の本校は、学力向上に励むと同時に部活動を通してスポーツや音楽・美術も盛んです。昭和三十五年から毎年夏に行われている「音楽の夕べ」や高崎市全体で取り組んでいる五日間の社会体験学習「やるベンチャーウィーク」など新しい伝統も創られつつあります。地域の皆様のご指導やご協力による地域のお祭りなどの行事を通して、温故知新の精神を大切にしています。ＰＴＡは「音楽の夕べ」や学校行事を応援しています。

【入野小学校】

本校とは国道二五四号線で隔てられた南側丘陵に、カタクリの群生地「カタクリの里」があります。毎年、三月下旬ごろから見事な花を咲かせ、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

本校の児童も

カタクリを通して様々な学習をしたり、「カタクリの里」の保護活動のお手伝いをしたりしています。

【榛名中学校】

本校は、開校三十八年目を迎える伝統ある学校です。「豊かな心を持ち、ねばり強く最善を尽くす生徒の育成」を目指して保護者や地域の方々に支えられています。本校は、七つの小学校区からなる大変広域な校区です。主に生徒は自転車で通っています。また、部活動・学校行事等、生徒は真剣に取り組んでおります。

【城南小学校】

城南小学校

本校は、開校六十周年を迎えました。特認校制度により推進してきた英語教育は、最も特色ある取り組みとして充実・定着し、毎年、市内のＡＬＴを中心とした外国の方を迎えて交流会を行っています。また、今年で二十四回目となる「鎌倉街道武者行列」に児童・教員・ＰＴＡが参加するなど、地域との交流にも積極的に取り組んでいます。

【上室田小学校】

上室田小学校

本校は、北に榛名湖・榛名神社を臨み、豊かな自然に囲まれた児童数六十三名、二・三年生が複式学級の学校です。子どもたちの主体的な活動として「あいさつ運動」があります。これは先生たちにもご指導いただき、児童会・委員会が中心となって毎月第三週に「あいさつ」の推進をする取り組みです。

人気行事

【城山小学校】

本校ＰＴＡでは、八月二十七日（土）に「第三回夏休みわくわく体験まつり」を実施しました。九時半から木工体験教室を、十二時からは流しそうめんを小学校体育館周辺で行いました。

城山小学校

当日は、たくさんの子ども達が参加し、木工工作の作品をお土産にして、そうめんでおなかをいっぱいにした楽しい一日となりました。

【南小学校】

南小学校

平成十五年度から始まった高崎市美術館との連携授業。本年度は二・三年生を対象に彫刻家の下山直紀先生をお招きしました。子どもたちは、飼育小屋のウサギを教室で観察して初めての土粘土に挑戦。土粘土の感触を楽しみながら様々なウサギが完成。下山先生と美術館学芸員の皆様のご尽力で創造力豊かな授業となりました。

【宮沢小学校】

宮沢小学校

本校の人気行事の一つに親子科学教室があります。今年度は「空飛ぶおもちゃを作って遊ぼう」というテーマで①フタバガキのタネ②飛行リング③傘袋ロケットと三種類の空飛ぶおもちゃを親子で作りました。完成したおもちゃで誰が一番になるか競争し、楽しい一時を過ごしました。

【岩平小学校】

岩平小学校

何と言っても人気がある行事は運動会や旅行ですが、その他に「収穫祭」や「なわとび検定」があります。自分たちで田植えをして収穫したお米で、指導してくださった地域の方と一緒におにぎりを作り、学校のすぐ南にある里山でそれをいただきます。今年も晴天の中、おいしくいただくことができました。この格別の味は、きっと一生忘れない思い出のひとつとなることでしょう。

なわとび検定は、十級～初段、二段、名人（三重回し十回）まであり、認定証が出ます。身体を動かすことが大好きな岩小の子どもたちは、体育や休み時間を利用し、上達する喜びを糧に真剣に集中して取り組みます。

【佐野小学校】

佐野小学校

『佐野めぐり』とは、お父さん中心の委員会「おや、子んず」による校区内の名所を歩く行事です。今年は佐野源左衛門常世神社や佐野橋、佐野小の前身、

西光寺など見学するコースで子どもたちはチェックポイントにある文字合わせクイズをしながら歩きました。地域の良さを再発見しながら休日を親子で一緒に楽しむことのできる行事です。

【金古南小学校】

本校では、毎年、校区内にある『群馬県立二葉養護学校』の児童を招き、交流会を開いています。交流会では、合奏や手話を交えての合唱などを発表しあいます。また、五年生は同校の児童から招かれ、自分達で考えたゲームや歌などを楽しみ、お互いの交流を深めています。

【箕輪小学校】

本校では昨年から「ワンちゃん大集合」というＰＴＡセミナーを行っています。警察犬の素晴らしい模範演技に日々の訓練による人と犬との信頼関係などを学びました。セラピー犬とのお散歩体験では、愛情をもって育てる大切さや一つの「命」というかけがえのないものをこの手で実感する事ができました。

【久留馬小学校】

「久留馬の里夏祭り」では、地域をあげて実行委員会を立ち上げ、児童のポスターづくりに始まり、ＰＴＡのバザーや育成会や各種団体の出店、盆踊り、ＡＫＧの出演など、たくさんの人が校庭に集まり、賑やかになります。

「長寿会との集い」もあります。地域の長寿会の方がたくさん学校に見えて、お手玉や竹とんぼづくりなど、十種目以上にわたって児童と一緒に指導してくださいます。

【長野小学校】

長野小学校

十一月十三日にＰＴＡ主催のバザーが体育館で開催されました。目玉商品を求めて、開店前から多くの人の列ができました。

焼きそばや焼き饅頭等の模擬店も大盛況でした。また今回は、震災の教訓を踏まえ、校庭では長野地区防災まつりも同時に開催され、消火訓練や起震車（なまず号）体験等、大勢の人で賑わいました。

【倉渕中学校】

倉渕中学校

本校で生徒達に一番人気の行事と言えば、十月に行われる『紅葉祭』。午前は学習発表、合唱コンクール、器楽合奏、音楽部のコンサート。午後はステージ発表で、厳しいオーディションに合格した人たちが、色々なパフォーマンスをしてくれます。先生も生徒もいつもとは違う一面が見られ、とても盛り上がります。

【群馬南中学校】

群馬南中学校

本校では、生徒に人気のクラス対抗三大行事があります。

陸上大会では、クラス対抗リレーに力が入り、バレーボール大会では、協力する事の大切さを学び、合唱コンクールでは、最優秀賞を目標に心をひとつに練習します。行事を終えるたびに各クラスの団結力・絆が深まります。

【箕郷中学校】

箕郷中学校

ＰＴＡセミナーで京都からお呼びした「たけさん」。ミュージシャンでしたが、脳梗塞で言語・聴覚や右手などに障害が残り、歌も演奏も何もかも奪われた絶望。しかし、なぜかそこに「ありがとう」と思い続け、そして残った左手で絵を描き始めたそうです。そのありふれた五文字の言葉が持つ奥深さ、パワー、「自分の発する言葉が自分の人生を作る」などを教わり、会場の体育館を出る生徒からは、口々に「ありがとう」の言葉が聞こえました。

出身者有名人

【久留馬小学校】

竹内海南江さん

（レポーター・タレント）

テレビ番組「世界不思議発見」のレポーターを長くやっています。日立のテレビＣＭにもでています。世界中をレポートして私たちに情報を提供してくれています。

【新高尾小学校】

堤　雅貴さん（野球選手）

ＢＣリーグ群馬ダイヤモンドペガサス投手として活躍しています。小学生の頃はやんちゃで友達とよく遊び、プロ野球選手に憧れていました。入団四年目、来年はＮＰＢ一軍での活躍を目標に練習に励んでいます。小学生の皆さんも「好きな事に一生懸命取り組み、野球好きな人はずっと好きでいて下さい」と一言いただきました。

【岩平小学校】

山崎　種二氏

（吉井町坂口出身）

伝説の相場師であり、実業家、教育家。我が吉井町にも図書館を設立してくださったり、町バスの寄付など、多大な恩恵を受けています。山種証券の創業者であり、山崎氏のコレクシ

ョンを元に開設された山種美術館が有名です。

【倉賀野中学校】

氷室　京介氏
（ロックバンド
BOØWYのボーカル）

【寺尾中学校】

JOYさん（モデル）

ご本人のブログを拝見する限り、少年時代は、かなりやんちゃだったようです。そのやんちゃな少年はサッカーに出会い、中学時代はサッカー群馬選抜で活躍されたことを某テレビ番組でお話されていました。ちなみに、寺尾小学校の卒業生でもあります。

家庭教育セミナー

十月十九日（水）に市総合福祉センターのたまごホールで市P連家庭教育委員会主催のセミナーが行われました。

◆講　師

アテネパラリンピック
男子マラソン金メダリスト
高橋　勇市氏

◆テーマ

「夢をあきらめない」

◆講演概要

秋田県横手市出身で、どじょうやトンボ、イナゴなどを捕ってばかりのわんぱくな幼年時代であった。

小三の時、学校が百周年を迎え、記念に学校の周りに一周一キロのマラソンコースができた。休み時間にはみんなで走った。卒業するまでずっと走っていた。

中学生になり、陸上部に入部したが、全然勝つことができなくて辞めようと思ったこともあった。でも、長くゆっくり走ることは好きだった。

高校生の時、色弱・眼底検査をして白点状網膜炎と診断され、「二十歳になったら失明しますよ」と言われた。（二十歳では網膜色素変性症も発症）視力が落ちていき、球がよく見えずキャッチボールは出来ない、階段は転げ落ちる、電柱にはぶつかる…周囲からはドジと思われ笑われていた。よく人にぶつかり謝ってばかりいた。謝ってばかりなので「目が見えないことは悪いこと、恥ずかしいこと」と感じ、人に話せず、親にも相談できず、ずっと見えるふりをしていた。

ついには、黒板の字も読めないようになり、教室では一番前の席になった。教科書も余程目を近づけないと読めないのだけれど、見えないことを悟られまいとひたすら見えるふりをしていた。

ルーペ、虫眼鏡、定規をもって大学受験をしたが、問題を読むのに時間がかかり、全問を解くことが出来ず、合格はかなわなかった。

大学にも行けず、就職もできず、家にいるしかなかった。

その後、眼科を受診し、「身体障害者」と言われた。その言葉は心に鋭く突き刺さった。

ある日、ラジオで柳川はるおさんのメダル獲得のニュースを聞いて、小中学生の頃、長くゆっくり走る事が好きだったことを思い出し、また走ってみようと思うようになった。

初めてフルマラソンを走った時は四時間五十分の記録。ひどい筋肉痛でその時は「もうやめよう」と思ったが、しばらくするとまた走りたくなった。

伴走者がおらず、とても大変であった。ママチャリのバイトを雇ったり、バイクにつかまって練習したり、時にはタクシーと走ってみたこともあった。

そんな折に、がんばって走っている様子をたまたま見かけたマッサージのお客さんが伴走者を買って出てくれ、自宅で筋トレなどもさせてくれた。

練習を続けるうちに三時間半で走れるようになったが、運悪く骨折してしまい、即入院。その時は、日曜日のマラソンのラジオ中継が楽しみで走ることだけをずっと考えていた。

固まった関節のリハビリに入ると「痛くない」と嘘をつき、一週間で退院した。その後、一ヶ月もしないうちにマラソン大会に出場。松葉杖をつき白杖もついて、伴走者のロープを持って、五キロを完走。制限時間四十分のところを五十三分かかったが、運営側の計らいでゴール前に「足の不自由なランナーがゴールします」とのアナウンスがあり、ハーフマラソンのスタート待ちの五千人がアーチと拍手で出迎えてくれた。応援してくれた人達からパワーをもらったような気がして「あの五千人に恩返ししたい」と思うようになった。

大会に出るたびに自己記録を更新し、精神面も鍛えられていった。目標に向かって走っているのも伝わるようで伴走者として名乗りを上げてくれる人がどんどん増えた。

そしてパラリンピック出場を目ざすようになった。大変苦しかったが、ついに金メダルを取ることができた。

以前は悪いことをしているわけではないのに人目を気にしてコソコソ買い物したりしていたが、応援されるうちに「これでいいのだ」と思えるようになり、堂々と買い物もできるようになった。

「マラソンをしてきて良かったな」と思う。子どもの頃や仕事場で自分にいじわるした人を許してあげられる気になった。

●広報誌第四号
編集グループ●

・グループ長
瀧澤　和也（八幡中）

・副グループ長
釼　緑郎（城山小）

・書　記
青木　和哉（中尾中）

・編集員
乗附　義輝（乗附小）
大塚　昌弘（南八幡中）
小島　佳久（寺尾中）
石塚　直輝（豊岡小）
桑名　ゆき（鼻高小）
高柳　恵（長野郷中）
戸塚　和成（新高尾小）
三木　由尚（中央小）
田中　典子（北　小）
高田　知之（南　小）
川原　徹（城南小）